



第34回日本木管コンクール クラリネット部門 最終結果

👑 林 まり恵さん 👑
 おめでとうございます!!



第1位

林まり恵さん



第3位

照沼夢輝さん



第3位

コスモス賞

内山智穂さん



入選

成田美佳さん



入選

久保田智巳さん



入選

滑川敬一さん

賞	エントリーNo.	氏名	出身校	伴奏者
第1位	27	林 まり恵	愛知県立芸術大学大学院 卒業	岡本知也
第3位	120	照沼 夢輝	東京芸術大学 卒業	宇根美沙恵
第3位	2	内山 智穂	東京芸術大学大学院 在籍	仲地朋子
入選	25	成田 美佳	東京芸術大学 在籍	仲地朋子
入選	93	久保田 智巳	東京芸術大学, 英国王立音楽院 卒業	宇根美沙恵
入選	121	滑川 敬一	愛知県立芸術大学大学院 在籍	岡本知也
コスモス賞	2	内山 智穂	東京芸術大学大学院 在籍	仲地朋子



審査員の個別指導





第34回日本木管コンクール クラリネット部門

受賞者コメント



第1位 林 まり恵さん

ありがとうございました。コスミックホールはよく響いて吹きやすく思いました。ボランティアの皆さんにやさしく声をかけてもらって本当にお世話になりました。1位を狙っていたわけではありませんでしたが、結果、とてもいい賞をいただき、とても嬉しいです。



コスモス賞 * 内山 智穂さん

今日は、このようなすばらしいコスモス賞をいただき、とても嬉しく思います。コンクール開催にあたって、たくさんの方のご協力があって開催されたものだ、終わった今、あらためて実感していて、感謝の気持ちしかありません。色々な方々にこの気持ちを伝えたいです。

コンクールを見守った花たち ~ありがとう~

玄関広場のコスモス。色とりどりに見事に花開いて、出場者をお迎えました。スタッフが丹精をこめて育てたコスモスです。

今年の玄関入口の花…三つの傘菊は、三草の藤原宏美様から提供していただきました。たくさん育てておられる花のうち、この夏の猛暑の中頑張り抜いた三鉢だそうです。その名残りも少し見えますが、三鉢揃ってホールの玄関で存在感を醸し出してくれました。

ホールやリハーサル室、廊下の机には、やさしく鮮やかに匂うアレンジメントのバラの花…アサミローズセレクション様から提供していただきました。会場のおちこちで出場者を心を和ませてくれました。いつも温かいおもてなし、ありがとうございました。



感謝

第34回日本木管コンクール・クラリネット部門も、審査員の先生方、公式伴奏者や、出場者、後援・協賛各位をはじめ、多くのボランティアのお力添えにより、お陰様で無事終えることができましたこと、改めて厚くお礼申し上げます。

昨年から引き続き、東条学園小中学校の多くの生徒ボランティアを得て、新しいコンクールの1ページが築かれたこと、非常に嬉しく思います。

また、出場された方々からは、「ホールの素晴らしい音響を肌で感じました。」「ボランティアの皆さんのやさしさに、緊張感も和らぎ、一杯演奏できました。」など嬉しいお声をいただき、私たちボランティアもしあわせや充実感を感じています。このコンクールから、未来へ、世界へ羽ばたく多くのアーティストが誕生することを、心から願っています。

このコスミックホールは、「NPO法人新しい風かとう」が、加東市から指定管理を受け運営していますが、創る喜び、あふれる感動、息づく文化の拠点として、これからも愛され親しまれるホール運営に努めてまいりますので、今後とも皆様のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。(ほっとねっと編集長)

~加東市ふるさと納税(ふるさと応援活動支援金)のご協力をお願いいたします~

特定の団体(支援希望団体)に対する寄付の受付を開始しています。QRコードをスマホ等で読み取っていただくと加東市ふるさと応援活動支援交付金交付制度のページにつながります。申請用紙については、ホームページからダウンロードできます。

特定の団体(支援希望団体)については、「特定非営利活動法人 新しい風かとう」にお願いします。詳しくはホームページをご覧ください。また、団体名をクリックすると「特定非営利活動法人 新しい風かとう」のホームページをご覧ください。



~日本木管コンクール開催における 協賛金・ご寄附にご協力をお願いいたします~

日本木管コンクールは、地元の企業や楽器メーカー各位をはじめ、コンクールを応援して下さる個人の皆様の温かいご寄付とご協賛支援に支えられて取り組んでまいりました。

「この素晴らしいコンクールと文化の灯を消してはならない」との思いと、若手音楽家の登竜門として、また日本の音楽文化の発展に寄与した功績をご理解いただき、今後もコンクールを継続するためにもご協力を仰ぎたいと考えております。どうぞ、皆様の温かいご支援を宜しくお願いいたします。

詳しくは「特定非営利活動法人 新しい風かとう」又はQRコードをスマホ等で読み取ってご覧ください。



審査委員長 講評 山本 正治 先生



宗教と音楽には密接な結びつきがある。有名な作曲家は教会音楽を作曲しており、キリスト教の美がクラシック音楽につながっている。ドイツに留学した時、ミサに出たことがあるが、讃美歌はオルガンの即興演奏から始まり、お母さんが歌い、子どもがそれを聴いているといったように、教会が生活の一部になっている。

京都に住職をしている友人がいる。日本人の音楽は、仏教からきている。御詠歌が演歌に近く、それが日本人の素地になっているということ。クラシック音楽とは根本的に違うところがあって、その違いが何かはわからないが、クラシックは美しいと感じる。モーツァルトのコンチェルトの第2楽章は長調であるが、もの悲しく降ってくるような音がすべて昇華されている美しい音楽である。

出場者皆さんの音は、確かにきれいになってきてはいるが、ミサのグロリアにあるような輝きの部分が足りないように思う。音も柔らかくなってきているのだが、そういった輝きをもっとあってほしい。クラシック音楽に取り組む人は、学びの中で、ヨーロッパとの文化の違いとか、そういう部分を考えて演奏するといっているのではない。

コスモス賞審査員の声 ★想い★願い

○指を動かす速度が速くてびっくりしました。しかも、一つ一つの音を丁寧に吹いていたので、音色がとてもきれいでした。速いところは吹くのが難しく、音の切り替えとか跳躍のメリハリや、高い音もきれいにしていたのがすごかったです。

○クラリネットは柔らかい音も出せるし、甲高い音も出せるすごい楽器ですね。また、あらためてホールのすばらしい響きに感心しました。日本木管コンクール、ずっとずっと続けていってください。

○開演までに、「ほっとねっと」に急いで目を通しました。本選出場6人の若者の写真がずらり。始まる前からワクワクが高まりました。地元の中学生たちもコスモス賞の審査員でたくさん参加していて、私の5分の1位の年齢の方たちと一緒に過ごすこともワクワクでした。どなたも素敵な演奏、気持ちが弾みました。

○クラリネットの音色がこんなに多様だと知りませんでした。低音も高音もきれいだったり深みがあったりしていました。1980年以降の曲は聴いたことがなかったけれど、面白い曲で、演奏者によっていろいろな表現になるんだなと思いました。ホールの響き、ピアノの音とのハーモニーも心地よかったです。



○クラリネットの音色がホールいっぱい響き渡り、これがコンクールだという緊張感が伝わってきました。ここまで残された皆さんの技術は僅差と感じました。どれだけ練習してきたんだろうと、そのご苦労がうかがえます。これからも、この場所、このコンクールが開催されることを願っております。

